

福崎君の 若葉の蔭から

第6回 イルミネーション・ナンバーについて考える

福崎 かずたろう

第6回 イルミネーション・ナンバーについて考える

さて、問題です。日本の都道府県で一番イルミネーションナンバーの多いところはどこでしょう？ こたえ——ミエ県……

なんていう冗談も出てしまうほど、イルミネーションナンバーは見栄以外の何物でもないように思えるのだが。

あ、イルミナンバーって分かります？ ほら、近畿地方で、運転が荒いことで有名な……そらイズミナンバーやがな……

そじゃなくて、夜間ライトをつけたときに、ナンバープレートの文字の部分が緑色に光るやつです。いわゆるところの「光るナンバー」です。それが、この半年か一年で爆発的に増えてきてるんですね。

この現象は大阪だけなのか、それともヨソでもそうなのか、私は正確なデータを持ち合わせていないので、分かりませんが。普段走り回っている近畿地方、あるいはこの秋ドライブしてきた東北地方など、過去よりかなり増えてきたように感じます。

やっぱり、「かっこいい」と考えられているんでしょうかねえ。

いま現在、イルミナンバーと同時に流行っているのが、ハイマウントストップランプ、要は3つめのブレーキ灯です。安全面から言えば、アメリカでは義務づけられているほどなので、こちらの方は好ましい事なのですが、どうやら

日本では、イルミナンバーと同様に、単なるアクセサリとして付けられているようです。どちらにしても、「ヒカリモノ」をゴテゴテデコレートしたがるというのは、まあ、トラック野郎的発想といたしますか、成金趣味といたしますか、小金持ちの小判振舞いといたしますか、何か寂しいですねえ。

☆ どんな人が車が・・・

さてそれでは、どんな車にイルミ車が多く、どんな人が乗ってるんでしょうか。目につくのは、まず、マークⅡに代表されるハイソカーですね。ほんっとマークⅡってイルミが多い。乗っているのは免許とりたてルンルンに一ちゃんからミソジも間近だあというに一ちゃんまで、なんかに一ちゃんが多いですな。勝手な想像だが、ローンで買ったぜ！60回払いだぜ！へへ。という感じです。それからプレリウド。これも多い。これも若いに一ちゃんとね一ちゃんがよく運転していますね。へたですけど。

次に多いのが、2000ccを越える3ナンバー贅沢車（ナンバーについては後述）。ソアラ、レパード、クラウン、シーマといったところでしょうか。ソアラやレパードはスポーティーな外観ゆえ、坊ちゃん嬢ちゃんパパ買ってえのパターン。クラウン・シーマは落ちついた高級車、中小企業のハゲ社長税金対策高くてもかまわへんのパターン。我ながら何か悪意に満ちた表現だが、それでいいのだ。

で、最近目だってきたのは、4WD車。パジェロとかランクルといった箱型からハイラックスサーフなどのピックアップトラックあたり。高いんですよ。このあたりの車は。値段ならマークⅡなどといい勝負です。最近では、どういうわけか、おしゃれなんですってね、このあたりの車が。

それと、意外と1000ccあたりのスターレットも多いです。乗っているのは絶対にハタチ前後のに一ちゃんです。ちなみにですけど、ドライブウェーなんかで、崖下に転がってるのもこのタイプに多いですな。

そして、昔からイルミが多いのは、なんといってもガイシャです。ベンツに代表されるふんぞり返っているような大きな車です。最近では、BMWなどにイルミが多いみたいです。

しかし、まあ、こうやって挙げてみると、なんですね。小高い車ばかりやね。価格にして200万円から上のクラス。現金払いはつらいけど、低金利時代はローンだあーと意気込めば、買えないことはない、というランク。こういった小金持ちどもの中に、ミエ坊が多いんだろなあ。スターレットは意外か

もしれないけど、金は無えけど車大好き三度の飯は車の中で食います、といった若もんが乗っていることを考えれば、理解できないこともない。ハイマウントランプつけて、イルミにして、無線機つけて、大容量のオーディオ載せて、窓にはスモーク張って、ウィンカーやブレーキ灯にはリレー回路を混ぜ込んで。いらんもんゴテゴテ付けるくらいなら、その余分な金+スターレットで、シビックのSiでも買えよ、おい！

それでは逆に、どんな車にイルミ車が少ないかも挙げてみましょう。なんと言っても車は道具、不必要なものはいっさい要らない！といったコロナやカロラーやファミリア。これらに代表されるファミリーカーは圧倒的に少ないですね。たあまに見ないこともないですけど。それと軽自動車。これはないですな。イルミナンバー自身が「軽」には設定されてない。良いと思いますけどね、黄色のバックに黒字が光る・・・不可能か。

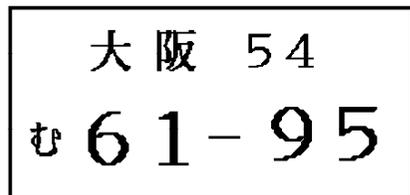
☆ ナンバーについて

それでは、ちょっとナンバープレートについて、勉強ませう（わかっている方は飛ばしたほうがいいですね、だらだら書いてるから）。

右の図を見てください。

最初の「大阪」の部分は、その車の登録してある陸運局の名称です。大阪府内では、南の「泉（今年から和泉）」、中央の「なにわ」、北の「大阪」の3種類です。兵庫県は「神戸」と「姫路」、京都府は「京都」、奈良県は「奈良」、滋賀県は「滋賀」、和歌山県は「和（今年から和歌山）」です。おおむね、県名をとっている所が多いようです。

次に「54」の部分が、その車の種別を表わします。一般に十の位の数字を取って「5ナンバー」と呼ばれるもので、排気量が550ccから2000cc未満の乗用車を表わしています。最初は5から始まって 55 → 56 → 57 → 58 → 59 → 52 → 53 → 54 と移ってきました。5と55の間に51があったという未確認情報もあり、51ナンバーの古い車を見たような記憶もあるのですが、実際はどうなのでしょう。5ナンバー以外では、1ナンバーが大型商用（トレーラーとかダンプなど）、2ナンバーは大型乗用（バスなど）、3ナンバーは中型乗用（排気量2000cc以上）、



4ナンバーは商用（2000cc以下・バンなど）、8ナンバーが特殊車両（パトカーとか教習車とか保冷車など）です。7ナンバーは5ナンバーがすべて使われてしまった場合のための空きエリアです。名古屋ナンバーなどはもう1年以上前から7ナンバーに突入しています。大阪も来年は7に入るでしょう。

次のひらがな部分が、「あ」から「こ」までが、営業用車（タクシーやバスなど）で、「さ」から「わ」までが一般用です。

最後の数字部分はナンバーだけの意味で、「・・・1」から始まって「99-99」で終わります（欠番もあるという噂ですが）。

☆ イルミ車のナンバーは・・・

さて、ここでお話ししたかったのは、イルミナンバーの専用枠があるということ。近畿地方では5ナンバーと3ナンバー車は、すべてひらがな部分が「ろ」となっています。4ナンバーは（これは大阪だけかも知れませんが）、「て」です。私は別に陸運局へ行って調べたわけではありませんので、経験だけで言っているわけですから、間違いもあるかも知れませんが。四国は「り」のようです。高知・愛媛・徳島は少なくともそうです。それから東北地方の太平洋側はどうやら「め」のようです。目立ちの「め」ですねえ。同じ東北でも日本海側は「ろ」のようです（秋田・山形・新潟など）。最近では東京などからの転勤組なのか、大阪でも関東地方のナンバーを目にすることが多いのですが、やはり、たいがいは「ろ」のようです。

冒頭で、私が、「イルミ車がこの半年か一年で爆発的に増えてきてる」と書いたのは、走行中、ひまさえあればナンバーに着目していたから、感じられたんです。昨年までは、「ろ」ナンバーは一般のナンバーに比べて進捗が遅れていたんです。昨年の今ごろは大阪で、普通のナンバーが54の前半でした。それに比べて「ろ」

ナンバーは59かせいでい52に入るかどうかというところだったでしょう。

（下右図参照）ところが、今年に入っからの「ろ」ナンバーの猛チャージで、

	イルミナンバー	一般のナンバー
	↓	↓
62年秋	52「ろ」	54「た」行 あたり
	53「ろ」	↓
63年秋	54「ろ」	54「や」行

昨年まで、一般ナンバーに比べて伸びなかった「ろ」ナンバーが、ここ1年で、一般ナンバーに追いついたことを示す。

一挙に一般ナンバーの54と並んでしまいました。いやそれどころか、もう54「ろ」は後半に入ってしまった（このあいだ見た車は数字部分が[60-00]を越えていた）。一般ナンバーはまだ「や」「ゆ」「よ」「ら」「り」「る」「れ」と残っています。5ナンバーは54で終わりですから、次の7ナンバーへはイルミナンバーである「ろ」だけが先に行く事になるかも知れません。また2年ほど前から出来た「なにわ」ナンバーは、現在「ろ」だけが57に入り、その他の一般ナンバーはいまだ56前半のようです。しかし、これは困ったことですね。今の人気ぶりが続くとすれば、もうイルミナンバーは「ろ」だけでなく、「ら」行をすべて使うくらいにしないと、対処できなくなるのは必至と言えるでしょう。

☆ 結論じみたこと

別に個人の消費にとやかく言うことではないし、言うても、まあ付ける人は付けるんやろけど、しかし、やっぱりよく分からない。運転している本人からは何も見えないイルミナンバーの何がよいんでしょうか？ ということに、どなたか、反対意見ありませんか。無ければ決めますよ。はい、決定！

おわり